

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金） 事後評価書

平成27年11月24日

計画の名称	河北町における循環のみち実現									
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	河北町							
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。									
計画の成果目標（定量的指標）	・下水道処理人口普及率を、69%から（H22）78%（H26）に増加させる。									
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考
① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)				最終目標値 (H26末)				
	69%	76%				78%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	888百万円	A	806百万円	B		C	82百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	10.2%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
河北町都市計画審議会で、数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証し、その結果を踏まえて今後の整備計画を検討することとした。	平成27年度 公表の方法 町のホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
A1-1-1	下水道	一般	河北町	直接	—	汚水	新設	北谷地第一汚水幹線系枝線（未普及解消）	L=2.1km	河北町						166	
A1-1-2	下水道	一般	河北町	直接	—	汚水	新設	西里汚水幹線系枝線（未普及解消）	L=2.0km	河北町						185	
A1-1-3	下水道	一般	河北町	直接	—	汚水	新設	南部汚水幹線系枝線（未普及解消）	L=2.1km	河北町						160	
A1-1-4	下水道	一般	河北町	直接	—	汚水	新設	溝延田井工業団地汚水幹線系枝線（未普及解消）	L=2.4km	河北町						295	
											小計（下水道事業）					806	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

C 効果促進事業				直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象							H22	H23	H24	H25	H26		
C-1-1	下水道	一般	河北町	直接	—	新設	北谷地第一汚水幹線系枝線（効果促進）	L=0.2km	河北町						13	
C-1-2	下水道	一般	河北町	直接	—	新設	西里汚水幹線系枝線（効果促進）	L=0.5km	河北町						32	
C-1-3	下水道	一般	河北町	直接	—	新設	南部汚水幹線系枝線（効果促進）	L=0.1km	河北町						8	
C-1-4	下水道	一般	河北町	直接	—	新設	溝延田井工業団地汚水幹線系枝線（効果促進）	L=0.4km	河北町						29	
										合計					82	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C-1-1	基幹事業である主要な管渠(A1-1-1)と接続する枝線管渠の整備を一体的に行うことにより、下水道処理人口普及率の向上に資する。	
C-1-2	基幹事業である主要な管渠(A1-1-2)と接続する枝線管渠の整備を一体的に行うことにより、下水道処理人口普及率の向上に資する。	
C-1-3	基幹事業である主要な管渠(A1-1-3)と接続する枝線管渠の整備を一体的に行うことにより、下水道処理人口普及率の向上に資する。	
C-1-4	基幹事業である主要な管渠(A1-1-4)と接続する枝線管渠の整備を一体的に行うことにより、下水道処理人口普及率の向上に資する。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・計画どおり下水道整備を実施した結果、計画の成果目標のとおり下水道処理人口普及率が69%から78%に増加し、下水道整備による安全・安心・快適な暮らしの実現と良好な環境の創造を図ることができた。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道 処理人口普及 率）	最終目標値	H26末	78%	目標値と実績値 に差が出た要因
		最終実績値	H26末	78%	
	指標②	最終目標値			目標値と実績値 に差が出た要因
		最終実績値			
	指標③	最終目標値			目標値と実績値 に差が出た要因
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					

3. 特記事項（今後の方針等）

今後も下水道未普及地域の整備促進を図るため、計画的かつ効率的に事業を展開する。

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

